

## シンポジウム「豊かな大阪をつくる」(第一回) ～「大阪市存続」の住民決断を踏まえて～

平成27年5月17日、特別区設置を巡る住民投票の結果、特別区設置は否決され、120年以上の歴史と伝統を誇る自治体「大阪市」が存続することが決せられた。賛否の得票数はわずか1万強。この結果はそれだけ、大阪における閉塞感を打破し、一部の市民のみで無く、あらゆる市民にとって、そして、子孫の世代にわたって明るく豊かな大阪の実現を希求する声大きいことを意味していると考えられる。したがって、存続が決まった「大阪市」という行政の枠組みを最大限に活用しながら、明るく豊かな大阪をつくるために、一体どうすれば良いのかを考えることが喫緊の課題となっている。ついてはこれからの大阪における具体的な今日の実務に直結する知見を提供することを企図し、大阪の未来に重大な関心を寄せる多様な分野の研究者が集い、豊かな大阪をつくるための提案を様々な角度から論じ合うシンポジウムを開催する。

記

**主催：** 「豊かな大阪をつくる」シンポジウム実行委員会

**場所：** 大阪市立大学（杉本キャンパス）・法学部棟3階・730教室

**プログラム：** 6月14日（午後1時～午後5時半）

午後1:00～2:30

- ・藤井聡・京都大学大学院教授（公共政策論、国土・都市計画）  
「大阪西日本首都構想～『大大阪形成促進法』制定の提案」
- ・河田恵昭・京都大学名誉教授（防災学）  
「阪神・淡路および東日本の二つの大震災を教訓とした  
豊かな大阪づくり試案」
- ・森裕之・立命館大学教授（地方財政学）  
「大都市の都市内分権を考える」

午後2:45～4:15

- ・薬師院仁志・帝塚山学院大学教授（社会学）  
「賛成694844票の質的考察」
- ・本多哲夫・大阪市立大学教授（地域経営論・中小企業論）  
「地域産業政策を考える—中小企業を主軸に—」
- ・小野田正利・大阪大学教授（教育学）  
「7年余の破壊から立ち上がる人々を支えたい～  
『大阪の教育の明日を考える会』の代表として」

午後4:30～5:30 パネルディスカッション

### ◆お知らせ

当日の資料は、下記よりご覧いただけます。

インターネットで「[サトシフジイドットコム](http://satoshi-fujii.com)」で検索ください。

<http://satoshi-fujii.com/symposium/>

同サイトから、当日の様子動画もご覧いただけます。

## シンポジウム「豊かな大阪をつくる」～「大阪市存続」の住民決断を踏まえて～（第二回）

平成27年5月17日、特別区設置を巡る住民投票の結果、特別区設置は否決され、120年以上の歴史と伝統を誇る自治体「大阪市」が存続することが決せられた。賛否の得票数はわずか1万強。この結果はそれだけ、大阪における閉塞感を打破し、一部の市民のみで無く、あらゆる市民にとって、そして、子孫の世代にわたって明るく豊かな大阪の実現を希求する声が大きいことを意味していると考えられる。したがって、存続が決まった「大阪市」という行政の枠組みを最大限に活用しながら、明るく豊かな大阪をつくるために、一体どうすれば良いのかを考えることが喫緊の課題となっている。ついてはこれからの大阪における具体的な今日の実務に直結する知見を提供することを企図し、6月14日の第一回シンポジウムの議論を踏まえつつ、大阪の未来に重大な関心を寄せる多様な分野の研究者が集い、豊かな大阪をつくるための提案をさらに様々な角度から論じ合うシンポジウムを、開催する。

### 記

**日時：** 7月12日（午後1時～午後5時半）

**場所：** 大阪市立大学（杉本キャンパス）・基礎教育実験棟1階・階段教室

**主催：** 「豊かな大阪をつくる」シンポジウム実行委員会

#### **プログラム：**

（午後1:00～2:50 話題提供）

藤井聡（京都大学大学院教授）

#### **「第一回シンポジウムの報告とそれを踏まえた大阪におけるインフラ構想」**

宮本憲一（元滋賀大学学長、大阪市立大学・滋賀大学名誉教授）

#### **「大阪府・市政の歴史的教訓」**

佐々木雅幸（同志社大学教授、大阪市立大学名誉教授）

#### **「包摂型創造都市・大阪に向けて」**

（午後3:05～4:25 話題提供）

木村 収（元大阪市立大学・阪南大学教授）

#### **「大都市制度と税財政」**

高田 昇（都市計画家・立命館大学客員教授）

#### **「大阪の都市再生、課題と方向性」**

（午後4:40～5:30 パネルディスカッション）

以上

# 大阪西日本首都構想 ～『大大阪形成促進法』制定の提案

京都大学大学院教授 藤井聡

## 1. 「大阪疲弊」の最大の原因

- 東京で進められた徹底的な「インフラ投資」が大阪では進められなかった。
- 特に東西格差が激しいのが「新幹線」。



図表 12 平成 22 年時点の政令指定都市と新幹線ネットワーク

東京は、計画路線がほぼ全て完了→大東京圏が形成！  
大阪は、計画路線は全く作られていない→？



↑ 新幹線がなければ、明治 9 年の大都市 (BEST15 以内) の大都市全てが、政令市から外れている。

## 2. 今、すぐにはじめるべきプロジェクト

- ① **リニアの名古屋大阪同時開業** (→ 大阪府で人口+26 万人、GRP+1.3 兆円、税収+千億以上)  
→ JR 東海への 3.5 兆円の無利子貸し付け
- ② **北陸新幹線の大阪接続** (→例：米原ルート + 北陸・米原・京都・大阪への相互乗り入れ)  
→ 敦賀までへの早期実現+整備計画の決定
- ③ 上記①、②の「うめきた」接続
- ④ **夢洲を活用した USJ の拡張** (中央線の延伸路線の活用)
- ⑤ これら全てにおいて「大阪の地場活力」を徹底的に活用 (地域まちづくりとの接続、地域産業の活用)

## 3. 大国家プロジェクトとしての大阪西日本首都構想(大大阪構想)

・ **基本理念** ⇒ 「大阪と京阪神、西日本、政府との徹底連携」

- 「東京一極集中緩和」の切り札 = 「国土強靱化」「地方創生」の切り札となる「国家プロジェクト」
- 大阪だけでなく、「京都・神戸」と連携した「京阪神」での発展を目指す。
- 大阪だけでなく、「北陸」「四国」「和歌山」「山陰」といった「西日本全体」との共栄を目指す。
- 経済成長と財政再建のための「アベノミクス投資プラン」の重要項目として位置づける

・ **長期的プロジェクト (当面は構想を進める)**

- ⑥ 北陸新幹線→新大阪→うめきた→関空→和歌山→四国 (**関空の最大有効活用**)
- ⑦ 友が島堤防プロジェクト (南海トラフ地震津波・対策)
- ⑧ 以上のプロジェクトを進めるための国家的見地に立った「大大阪形成促進法」を策定

以上